

室蘭工業大学

令和 7 年度父母等アンケート

集計結果報告書

令和 7 年 9 月



目 次

I . 調 査 の 概 要	1
1 . 子 女 の 学 年 ・ 学 科	1
II . 調 査 結 果 の 要 約	2
2 . 本 学 に 関 す る 印 象 等	2
3 . ご 子 女 の 大 学 (学 部) 卒 業 後 の 進 路 に つ い て	3
4 . 父 母 等 と 本 学 の 接 点 に つ い て	4
5 . 父 母 等 が 考 え る 本 学 と し て 今 後 強 化 す べ き 事 項	4
III . 調 査 集 計 結 果	6
2 . 本 学 に 関 す る 印 象 等	6
(1) 本 学 の 教 育 活 動 に 関 す る 印 象	6
(2) 就 職 ・ 進 路 指 導 に 関 す る 本 学 の 取 り 組 み へ の 印 象	8
(3) 課 外 活 動 (ク ラ ブ ・ サ ー ク ル 等) に 関 す る 本 学 の 支 援 や 援 助 の 印 象	10
(4) 本 学 の 地 域 貢 献 や 社 会 活 動 へ の 取 り 組 み に 関 す る 印 象	12
(5) 本 学 の 経 営 や 財 政 状 況 に つ い て の 認 知 度	14
(6) 子 女 の 本 学 入 学 に 対 す る 満 足 度	16
3 . ご 子 女 の 大 学 (学 部) 卒 業 後 の 進 路 に つ い て	18
(1) ご 子 女 の 大 学 院 へ の 進 学 に つ い て の 考 え	18
(2) - 1 . 「 博 士 前 期 課 程 ・ 博 士 後 期 課 程 に 進 学 し て ほ し い 」 と 回 答 し た 理 由	20
(2) - 2 . 「 大 学 (学 部) 卒 業 後 、 就 職 し て ほ し い 」 と 回 答 し た 理 由	22
(2) - 3 . 大 学 院 へ の 進 学 を 検 討 す る の に 必 要 な 情 報	24
4 . 父 母 等 と 本 学 の 接 点 に つ い て	26
(1) 本 学 の 情 報 に 触 れ る 主 な 媒 体 (3 つ ま で 選 択 可)	26
(2) 選 択 し た 媒 体 か ら 得 ら れ る 情 報 に つ い て の 満 足 度	28
(3) 本 学 か ら 受 け た い 情 報 の 種 類 等	30
5 . 父 母 等 者 が 考 え る 本 学 と し て 今 後 強 化 す べ き 事 項	32

I. 調査の概要

①実施時期：令和 7 年 6 月 20 日(金)～7 月 31 日(木)

②対象：室蘭工業大学 在学二年目以降の学生の父母等
2,010 件(依頼文書送付数)

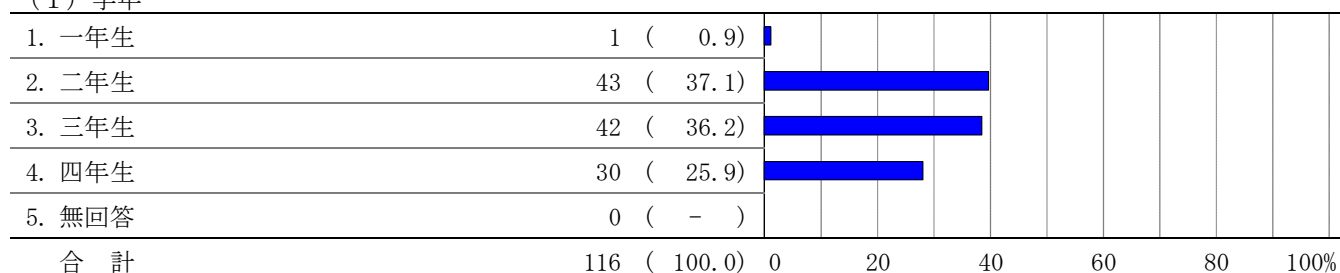
③回答・回収状況：116 件(回収率：5.77%)

④回答者内訳：

1. 子女の学年・学科

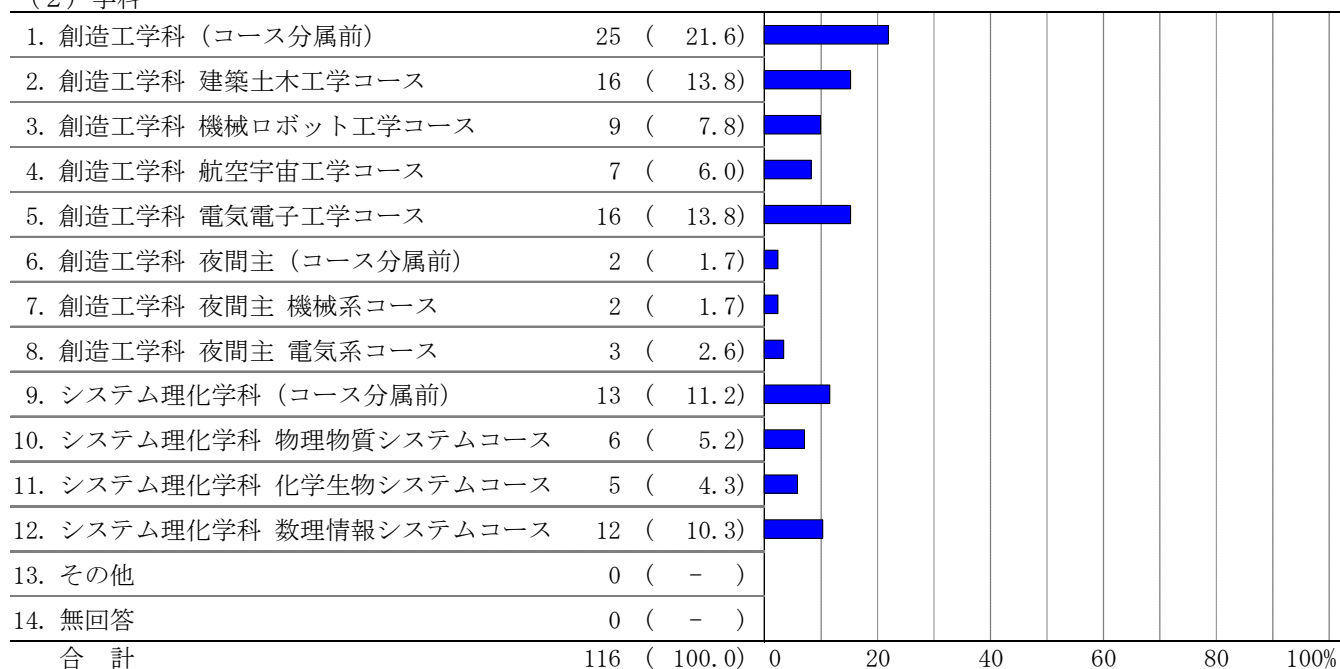
1. ご子女の学年・学科についてお答えください。

(1) 学年



1. ご子女の学年・学科についてお答えください。

(2) 学科



※全体母数を考慮の上、クロス集計は「学年別」「学科別」で行っている。

Ⅱ．調査結果の要約

2．本学に関する印象等

(1) 本学の教育活動に関する印象

「本学の教育活動は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、全体で「十分である」「おおむね十分である」と回答した在学生父母等（以下：父母等）の肯定的意見の割合は合わせて 79.3%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答割合は合わせて 6.9%であり、「わからない」との回答が 13.8%となっている。

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みへの印象

「就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか」との設問に対して、全体で「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の肯定的意見の割合は合わせて 58.6%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答は合わせて 7.7%であり、「わからない」との回答が 33.6%となっている。

(3) 課外活動（クラブ・サークル等）に関する本学の支援や援助の印象

「課外活動（クラブ・サークル等）に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の割合は合わせて 45.7%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答は合わせて 11.2%であり、「わからない」との回答が 43.1%を占める。

(4) 本学の地域貢献や社会活動への取り組みに関する印象

「本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の割合は合わせて 69.8%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答は合わせて 2.6%であり、「わからない」との回答が 27.6%となっている。

(5) 本学の経営や財政状況についての認知度

「本学の経営や財政状況についてご存知ですか」との設問に対して、「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した父母等の割合は合わせて 10.3%であり、「あまり知らない」「全く知らない」との回答が合わせて 89.7%を占めている。

(6) 子女の本学入学に対する満足度

「父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか」との設問に対して、「充分満足している」「ある程度満足している」と回答した父母等の肯定的意見の割合は合わせて 97.4%となっている。「あまり満足していない」との回答は 2.6%（3人）、「全く満足していない」との回答は 0人である。

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路について

（１）ご子女の大学院への進学についての考え

今回調査から追加された設問である。

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士後期課程に進学してほしい」と回答した父母等の割合は合わせて 50.0%である。

（２）-1.「博士前期課程・博士後期課程に進学してほしい」と回答した理由

「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士後期課程に進学してほしい」と回答した父母等にその理由を複数選択で聞いた設問である。

全体として最も割合が高いのは、「大学院でより専門的な研究をしてほしいから」60.3%、次いで「研究活動を通して自分を高めてほしいから」50.0%、「就職先や給与の面で有利だと思うから」48.3%、同率で「ご子女が大学院進学を希望しているから」48.3%、「理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから」37.9%、「地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから」10.3%となっている。

（２）-2.「大学（学部）卒業後、就職してほしい」と回答した理由

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「大学（学部）卒業後、就職してほしい」と回答した父母等の割合は 31.0%（36 人）であるが、その回答者に理由を複数選択で聞いた設問である。

最も割合が高いのは「早期に就職して社会で活躍してほしいから」50.0%、次いで「経済的な理由から」41.7%、「大学院での研究には興味がないから」19.4%、「大学院へ進学するメリットがわからないから」13.9%となっている。

（２）-3.大学院への進学を検討するのに必要な情報

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「わからない」と回答した父母等の割合は全体として 19.0%（22 人）であるが、その回答者に「今後どのような情報があると、大学院へ進学させても良いかかもしれないと思いますか。」と複数選択で聞いた設問である。

最も割合が高いのは「大学院進学にかかる費用や学費の支援（奨学金）に関すること」54.5%、次いで「大学院を修了（卒業）した学生の社会での活躍に関すること」45.5%、「大学院修了（卒業）後の就職先や就職後の給与に関すること」40.9%、「大学院進学後の研究内容」27.3%となっている。

4. 父母等と本学の接点について

(1) 本学の情報に触れる主な媒体(3つまで選択可)

今回調査から追加された設問である。

「本学の情報に触れる主な媒体は何ですか？」(3つまで選択可)という設問に関して、全体として「大学のホームページ」が87.9%であり、圧倒的に高い。

次いで高いのは「新聞」18.1%、「YouTube」12.9%、同率で「Instagram」12.9%、「テレビ」11.2%、「出版物(雑誌など)」6.0%と続いている。

(2) 選択した媒体から得られる情報についての満足度

「(1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。」との設問に対して、「充分満足している」「ある程度満足している」と回答した父母等の肯定的意見の割合は合わせて80.7%、「あまり満足していない」との回答割合は12.3%、「全く満足していない」は1.8%、「わからない」が5.3%となっている。

(3) 本学から受けたい情報の種類等

「本学からどのような情報の発信を希望されますか」との設問に対して、全体としては「就職・進学状況」が45.7%で突出して高く、次いで「教育の環境」19.8%、「研究の内容」18.1%、「学生の成績」12.1%となっている。

学年別・学科別でみた場合でも、最も高い値は「就職・進学状況」となっている。

5. 父母等が考える本学として今後強化すべき事項

「今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択してください」(複数選択可)との設問に対して、最も割合が高いのは「教育(専門的知識・技術)」68.1%、次いで「就職支援」57.8%、「教育(語学力、コミュニケーション力)」が51.7%となっている。

<掲載図表の数値表示について>

報告書掲載の図表内数値の合計については Excel での計算となっているため、以下例示のように小数点 1 位までの表示合計と報告書掲載の数値に 0.1 の差異がでる場合がある。
(図表内数値の合計表示例):

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

	充分満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	全く満足していない	無回答	報告書 掲載数値	図表上の合 計値	小数点第2位まで の数値
全 体[116]	52.6	44.8	2.6	—	—	97.4	97.4	97.41
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	100.0	100.0	100.00
二年生[43]	58.1	39.5	2.3	—	—	97.7	97.6	97.67
三年生[42]	45.2	52.4	2.4	—	—	97.6	97.6	97.62
四年生[30]	56.7	40.0	3.3	—	—	96.7	96.7	96.67

Ⅲ. 調査集計結果

2. 本学に関する印象等

(1) 本学の教育活動に関する印象

「本学の教育活動は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、全体で「十分である」「おおむね十分である」と回答した在学生父母等（以下：父母等）の肯定的意見の割合は合わせて 79.3%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答割合は合わせて 6.9%であり、「わからない」との回答が 13.8%となっている。

学年別にみた場合、肯定的意見の割合が最も高いのは四年生で 86.7%、次いで二年生 79.1%、三年生 73.8%となっている。

尚、一年生の回答者は 1 名であるため学年別比較については割愛している。（※以降の設問に関しても同様）

学科別に見た場合、全体で「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の割合は創造工学科 82.5%、システム理化学科 72.2%であり差異がみられる。

これまでの調査との比較でみると、全体としての肯定的意見の割合は 2013 年度 65.5%、2016 年度 69.0%、2019 年度 75.7%、2022 年度 62.1%、今回調査では 79.3%となっている。

過去の調査と比較して、肯定的回答（79.3%）の内「十分である」の割合が 37.1%を占めている点が特徴として挙げられる。

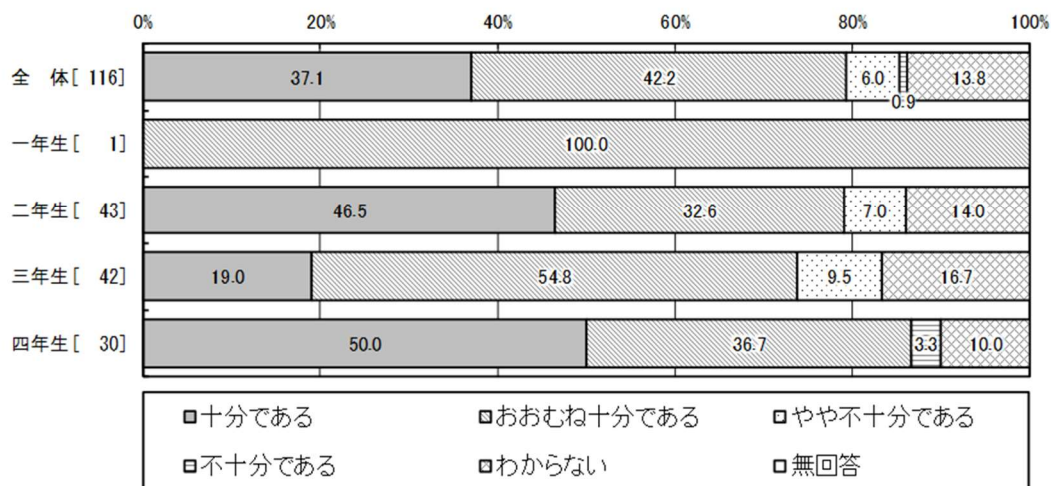
< 学年別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	
全 体 [116]	37.1	42.2	6.0	0.9	13.8	—	79.3
一年生 [1]	—	100.0	—	—	—	—	100.0
二年生 [43]	46.5	32.6	7.0	—	14.0	—	79.1
三年生 [42]	19.0	54.8	9.5	—	16.7	—	73.8
四年生 [30]	50.0	36.7	—	3.3	10.0	—	86.7

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。



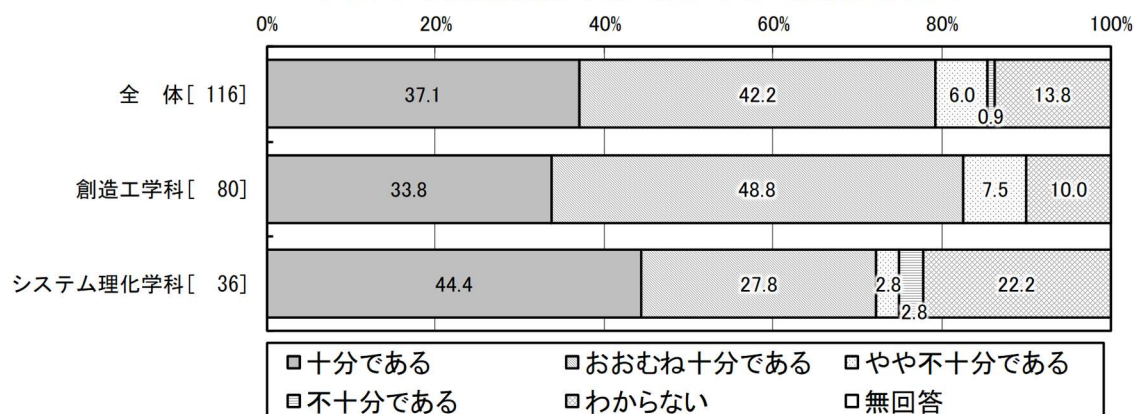
< 学 科 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
全 体[116]	37.1	42.2	6.0	0.9	13.8	—	79.3
創造工学科[80]	33.8	48.8	7.5	—	10.0	—	82.5
システム理化学科[36]	44.4	27.8	2.8	2.8	22.2	—	72.2

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。



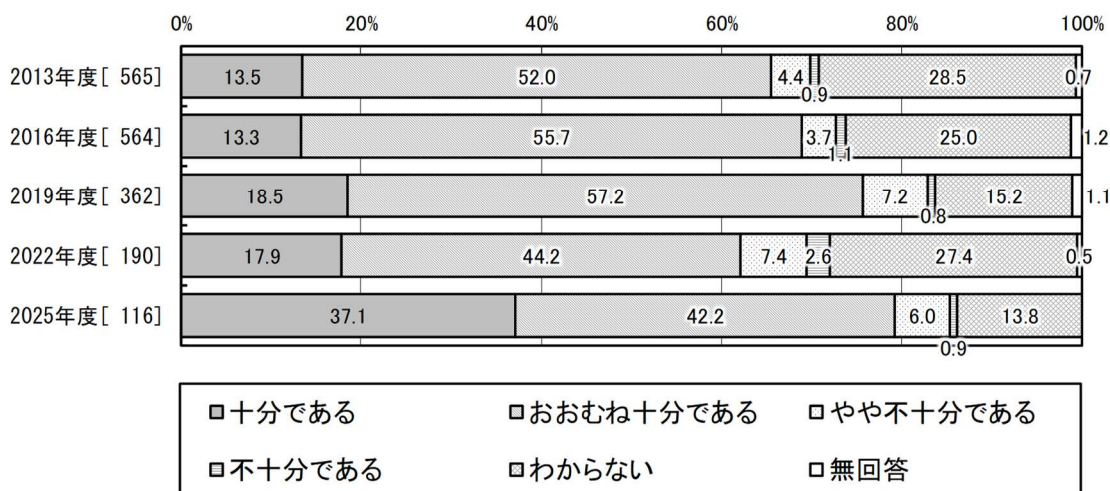
< これまでの調 査 と の 比 較 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
2013年度[565]	13.5	52.0	4.4	0.9	28.5	0.7	65.5
2016年度[564]	13.3	55.7	3.7	1.1	25.0	1.2	69.0
2019年度[362]	18.5	57.2	7.2	0.8	15.2	1.1	75.7
2022年度[190]	17.9	44.2	7.4	2.6	27.4	0.5	62.1
2025年度[116]	37.1	42.2	6.0	0.9	13.8	—	79.3

(1) 本学の教育活動は十分に行われていると感じますか。



(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みへの印象

「就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか」との設問に対して、全体で「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の肯定的意見の割合は合わせて58.6%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答割合は合わせて7.7%であり、「わからない」との回答が33.6%となっている。

学年別にみた場合、肯定的意見の割合が最も高いのは四年生70.0%、次いで二年生55.8%、三年生52.4%となっている。

学科別の比較も次ページに掲載しているが、創造工学科58.8%、システム理化学科58.3%でほぼ同率である。

これまでの調査との比較でみると、肯定的意見の割合は2013年度40.9%、2016年度39.0%、2019年度48.6%、2022年37.9%、今回調査では58.6%と大きく上昇している。

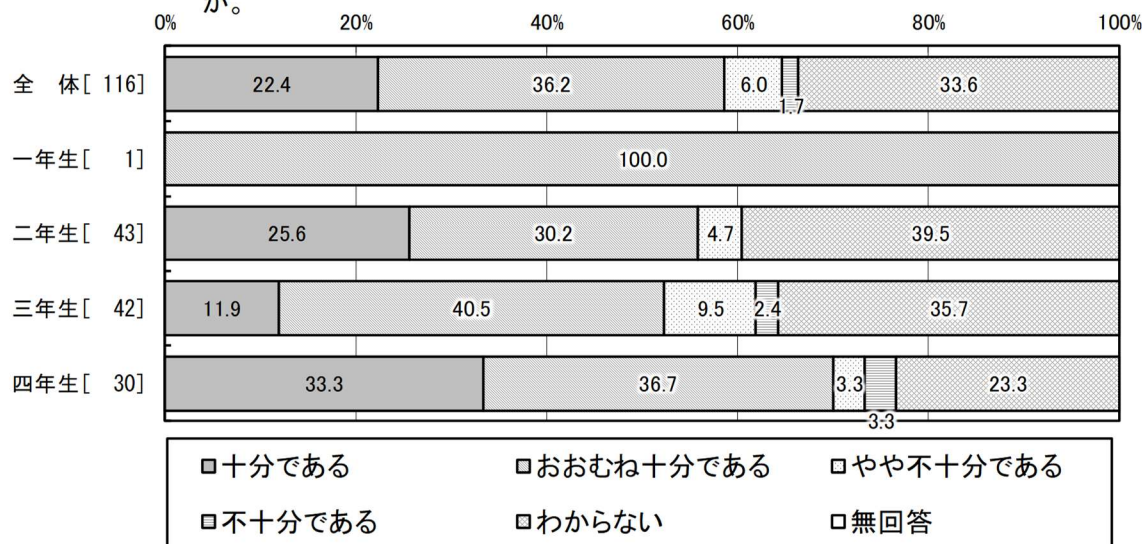
< 学年別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	
全 体[116]	22.4	36.2	6.0	1.7	33.6	—	十分である +おおむね 十分である 58.6
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	—	100.0
二年生[43]	25.6	30.2	4.7	—	39.5	—	55.8
三年生[42]	11.9	40.5	9.5	2.4	35.7	—	52.4
四年生[30]	33.3	36.7	3.3	3.3	23.3	—	70.0

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。



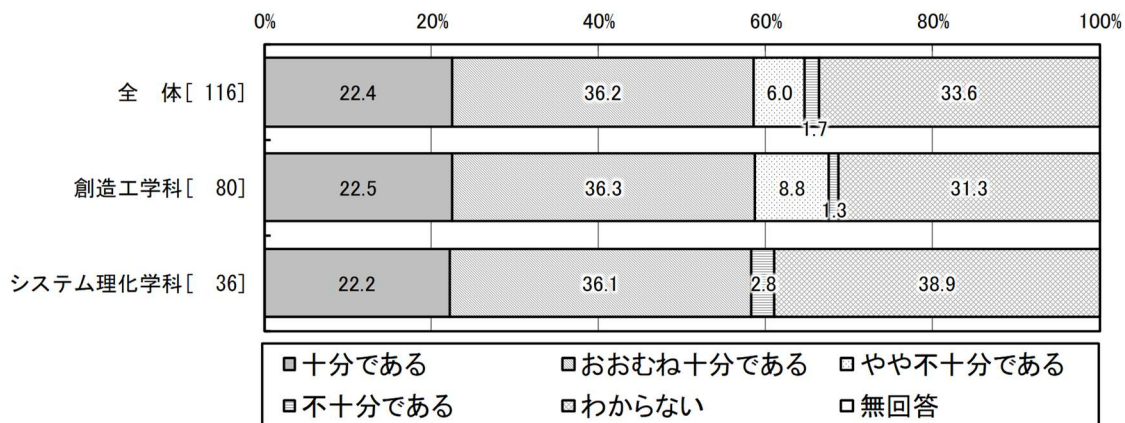
< 学 科 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
全 体 [116]	22.4	36.2	6.0	1.7	33.6	—	58.6
創造工学科 [80]	22.5	36.3	8.8	1.3	31.3	—	58.8
システム理化学科 [36]	22.2	36.1	—	2.8	38.9	—	58.3

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。

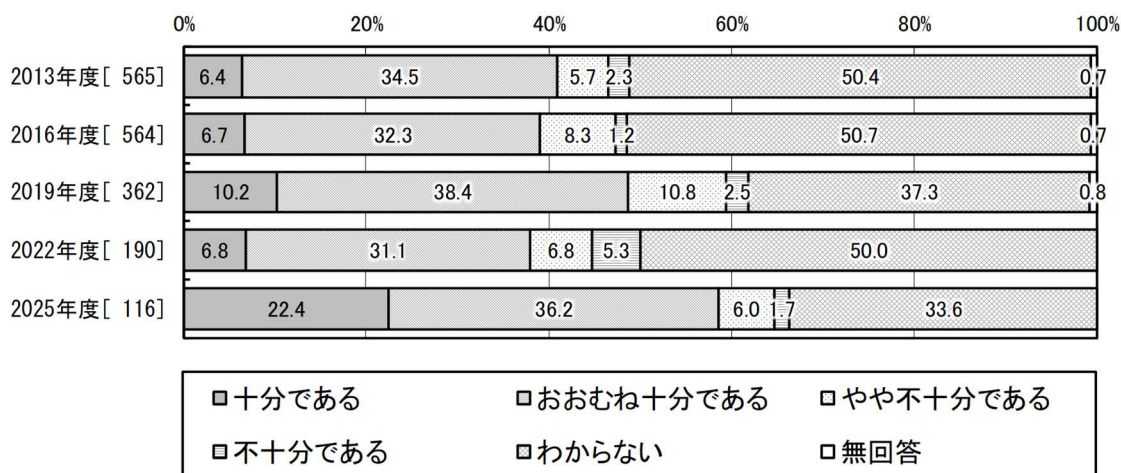


< これまでの調 査 と の 比 較 >

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
2013年度 [565]	6.4	34.5	5.7	2.3	50.4	0.7	40.9
2016年度 [564]	6.7	32.3	8.3	1.2	50.7	0.7	39.0
2019年度 [362]	10.2	38.4	10.8	2.5	37.3	0.8	48.6
2022年度 [190]	6.8	31.1	6.8	5.3	50.0	—	37.9
2025年度 [116]	22.4	36.2	6.0	1.7	33.6	—	58.6

(2) 就職・進路指導に関する本学の取り組みは十分に行われていると感じますか。



(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助の印象

「課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の割合は合わせて45.7%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答は合わせて11.2%であり、「わからない」との回答が43.1%を占める。

学年別にみた場合、肯定的意見は二年生が53.5%で最も高くなっている。

学科別の比較でみると、創造工学科の肯定的意見の割合は45.0%、システム理化学科47.2%となっており、差異はほとんどみられない。

これまでの調査との比較でみると、肯定的意見の割合は2013年度37.7%、2016年度36.3%、2019年度41.4%、2022年度35.3%、今回調査では45.7%と大きく上昇している。

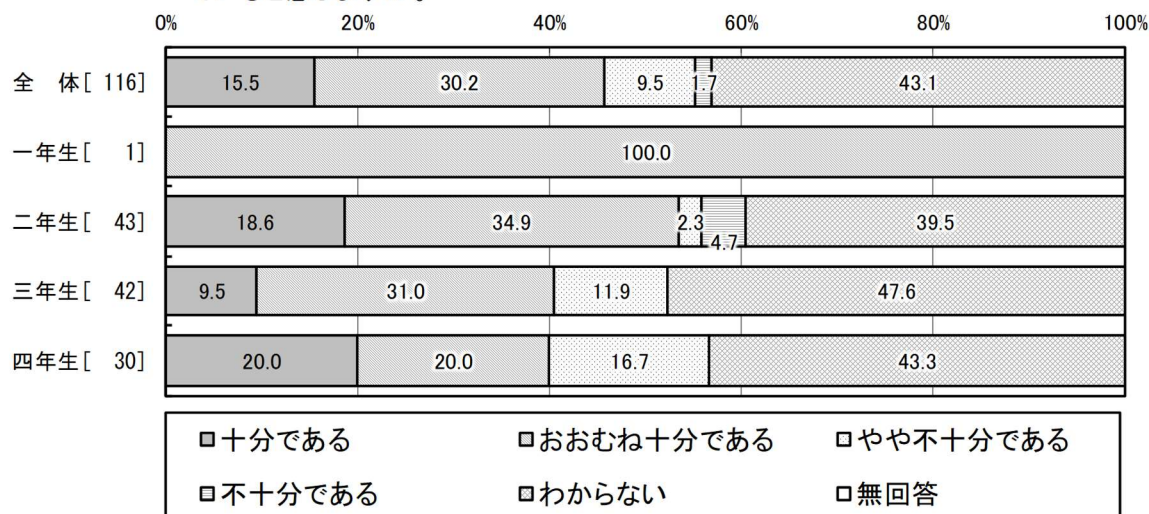
< 学 年 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	
全 体[116]	15.5	30.2	9.5	1.7	43.1	—	45.7
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	—	100.0
二年生[43]	18.6	34.9	2.3	4.7	39.5	—	53.5
三年生[42]	9.5	31.0	11.9	—	47.6	—	40.5
四年生[30]	20.0	20.0	16.7	—	43.3	—	40.0

(3)課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。

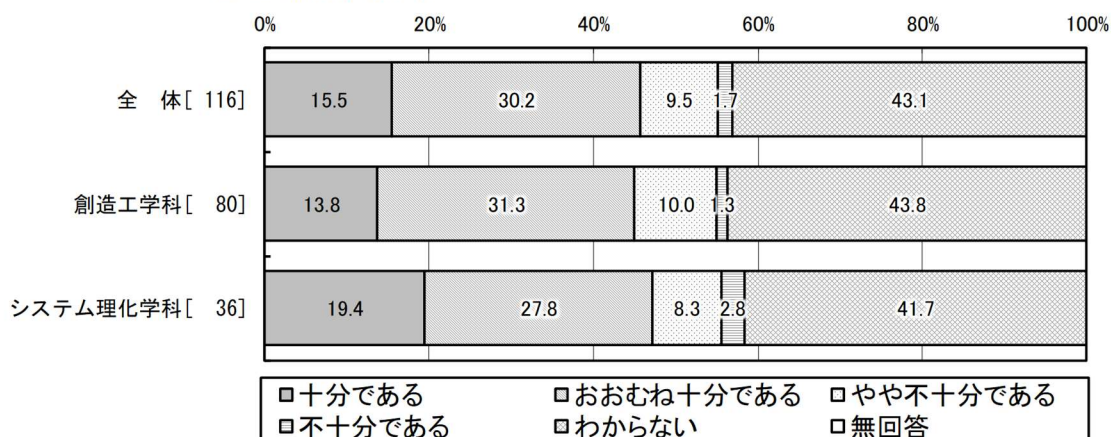


< 学 科 別 >

(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
全 体[116]	15.5	30.2	9.5	1.7	43.1	—	45.7
創造工学科[80]	13.8	31.3	10.0	1.3	43.8	—	45.0
システム理化学科[36]	19.4	27.8	8.3	2.8	41.7	—	47.2

(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。

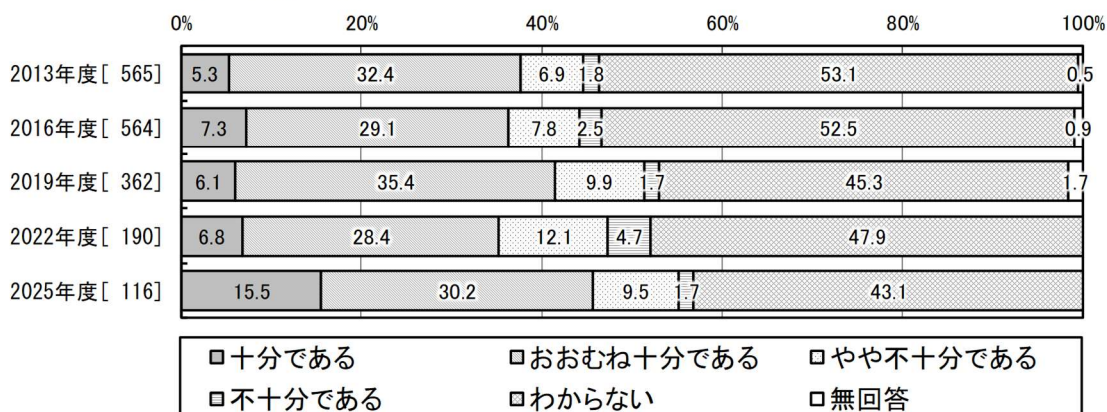


< これまでの調査との比較 >

(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
2013年度[565]	5.3	32.4	6.9	1.8	53.1	0.5	37.7
2016年度[564]	7.3	29.1	7.8	2.5	52.5	0.9	36.3
2019年度[362]	6.1	35.4	9.9	1.7	45.3	1.7	41.4
2022年度[190]	6.8	28.4	12.1	4.7	47.9	—	35.3
2025年度[116]	15.5	30.2	9.5	1.7	43.1	—	45.7

(3) 課外活動(クラブ・サークル等)に関する本学の支援や援助は十分に行われていると感じますか。



(4) 本学の地域貢献や社会活動への取り組みに関する印象

「本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか」との設問に対して、「十分である」「おおむね十分である」と回答した父母等の割合は合わせて69.8%となっている。「やや不十分である」「不十分である」との回答は合わせて2.6%であり、「わからない」との回答が27.6%となっている。

学年別にみた場合、肯定的意見は四年生が80.0%で最も高い。

学科別の比較でみると創造工学科の肯定的意見の割合は67.5%、システム理化学科75.0%で差異がみられる。

これまでの調査との比較でみると、肯定的意見の割合は2013年度52.9%、2016年度49.1%、2019年度58.8%、2022年度55.8%、今回調査では69.8%と大きく上昇している。

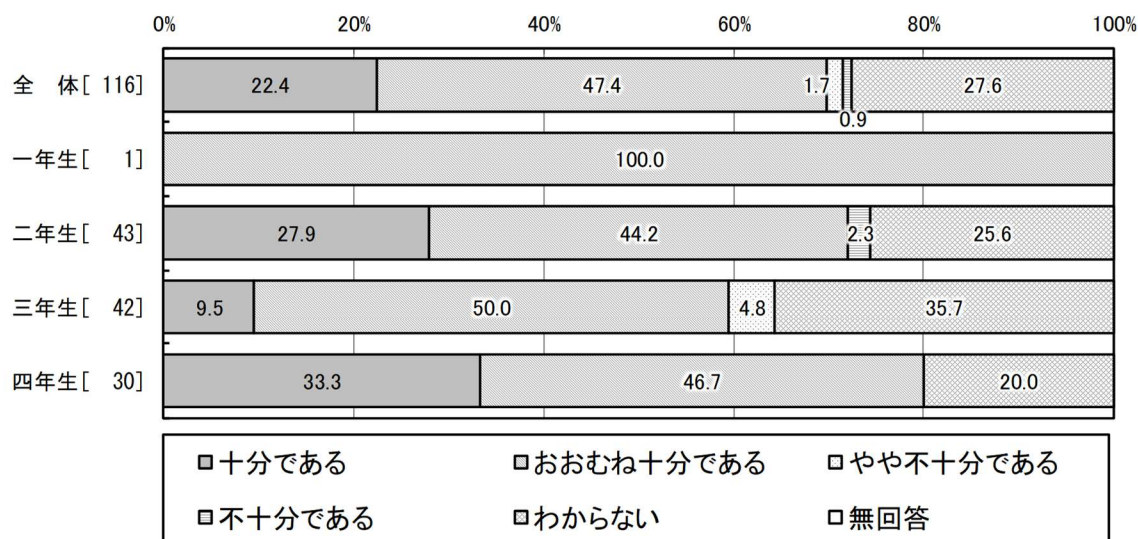
< 学 年 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
全 体[116]	22.4	47.4	1.7	0.9	27.6	—	69.8
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	—	100.0
二年生[43]	27.9	44.2	—	2.3	25.6	—	72.1
三年生[42]	9.5	50.0	4.8	—	35.7	—	59.5
四年生[30]	33.3	46.7	—	—	20.0	—	80.0

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。



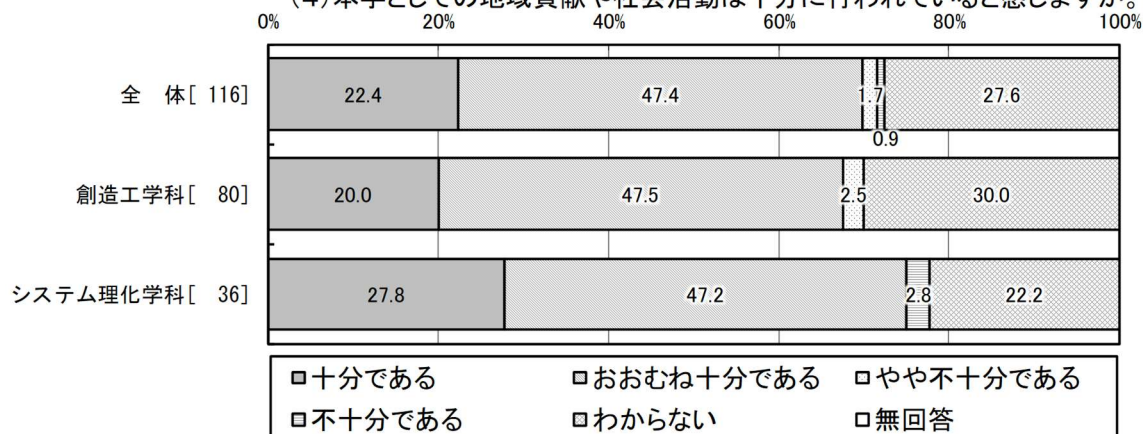
< 学 科 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
全 体 [116]	22.4	47.4	1.7	0.9	27.6	—	69.8
創造工学科 [80]	20.0	47.5	2.5	—	30.0	—	67.5
システム理化学科 [36]	27.8	47.2	—	2.8	22.2	—	75.0

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。

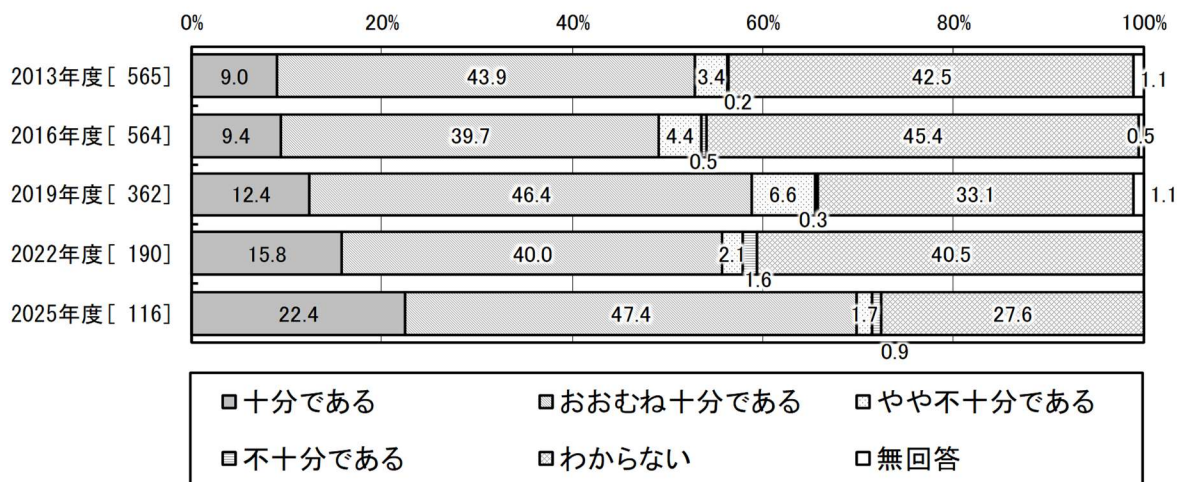


< これまでの調査との比較 >

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。

	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	わからない	無回答	十分である + おおむね十分である
2013年度 [565]	9.0	43.9	3.4	0.2	42.5	1.1	52.9
2016年度 [564]	9.4	39.7	4.4	0.5	45.4	0.5	49.1
2019年度 [362]	12.4	46.4	6.6	0.3	33.1	1.1	58.8
2022年度 [190]	15.8	40.0	2.1	1.6	40.5	—	55.8
2025年度 [116]	22.4	47.4	1.7	0.9	27.6	—	69.8

(4) 本学としての地域貢献や社会活動は十分に行われていると感じますか。



(5) 本学の経営や財政状況についての認知度

「本学の経営や財政状況についてご存知ですか」との設問に対して、「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した父母等の割合は合わせて10.3%であり、「あまり知らない」「全く知らない」との回答割合が合わせて89.7%を占めている。

学年別にみた場合、肯定的意見が最も高いのは四年生16.7%、最も低いのは二年生4.7%である。

参考までに学科別の比較も次ページに掲載している。

これまでの調査との比較でみると、「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した父母等の割合は、2013年度12.0%、2016年度13.1%、2019年度13.8%、2022年度11.6%、今回調査では10.3%の結果となっている。

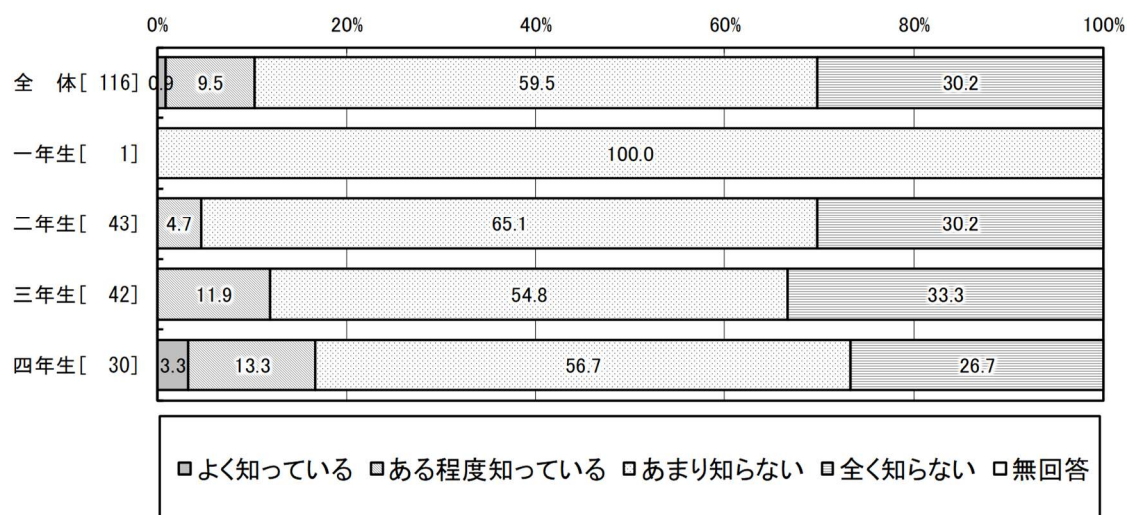
< 学年別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(5) 本学の経営や財政状況についてご存じですか。

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	よく知っている +ある程度知っている
全 体[116]	0.9	9.5	59.5	30.2	—	10.3
一年生[1]	—	—	100.0	—	—	0.0
二年生[43]	—	4.7	65.1	30.2	—	4.7
三年生[42]	—	11.9	54.8	33.3	—	11.9
四年生[30]	3.3	13.3	56.7	26.7	—	16.7

(5) 本学の経営や財政状況についてご存じですか。



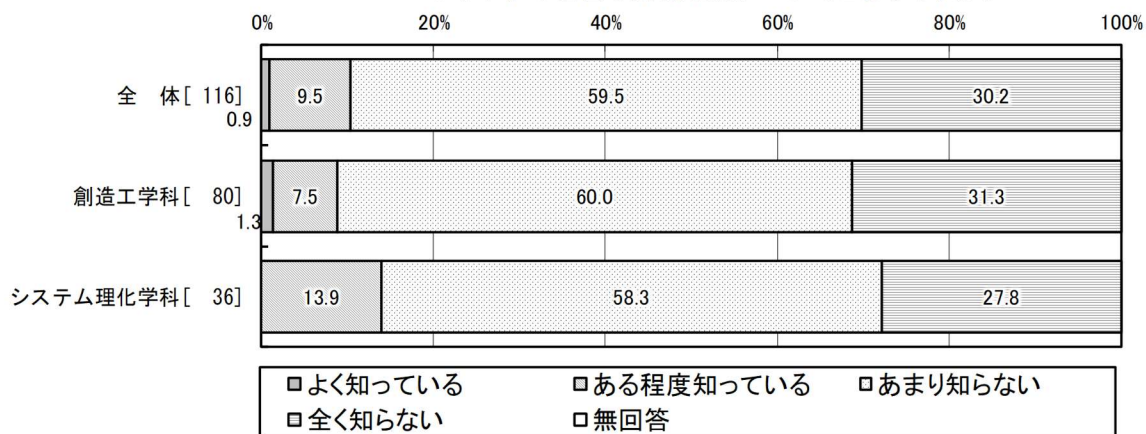
< 学 科 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(5) 本学の経営や財政状況についてご存じですか。

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	よく知っている +ある程度知っている
全 体 [116]	0.9	9.5	59.5	30.2	—	10.3
創造工学科 [80]	1.3	7.5	60.0	31.3	—	8.8
システム理化学科 [36]	—	13.9	58.3	27.8	—	13.9

(5)本学の経営や財政状況についてご存じですか。

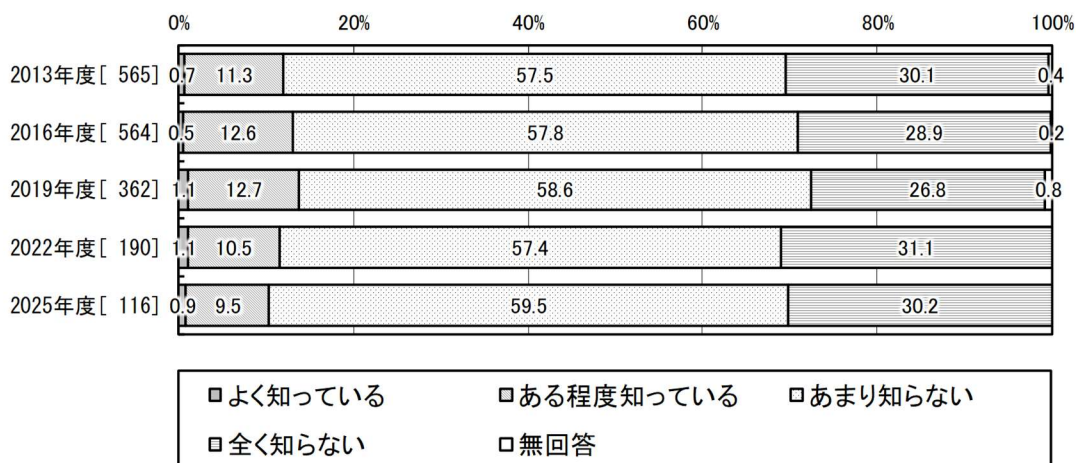


< これまでの調 査 と の 比 較 >

(5) 本学の経営や財政状況についてご存じですか。

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	よく知っている +ある程度知っている
2013年度 [565]	0.7	11.3	57.5	30.1	0.4	12.0
2016年度 [564]	0.5	12.6	57.8	28.9	0.2	13.1
2019年度 [362]	1.1	12.7	58.6	26.8	0.8	13.8
2022年度 [190]	1.1	10.5	57.4	31.1	—	11.6
2025年度 [116]	0.9	9.5	59.5	30.2	—	10.3

(5)本学の経営や財政状況についてご存じですか。



(6) 子女の本学入学に対する満足度

「父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか」との設問に対して、「充分満足している」「ある程度満足している」と回答した父母等の割合は合わせて 97.4%となっている。

「あまり満足していない」との回答は 2.6%(3 人)、「全く満足していない」との回答は 0 人である。学年別にみても差異はない。

学科別にみた場合、「あまり満足していない」と回答した割合は創造工学科 1.3%(1 人)、システム理化学科 5.6%(2 人)となっている。

これまでの調査との比較でみると、肯定的意見の割合は 2013 年度 93.8%、2016 年度 94.0%、2019 年度 94.8%、2022 年度 91.6%、今回調査では 97.4%となっている。

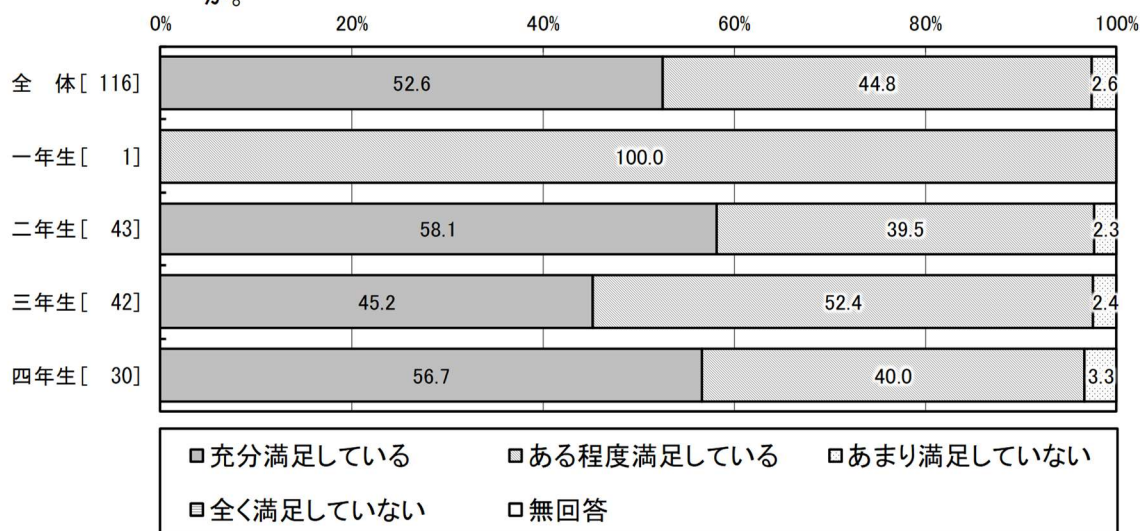
< 学年別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	無回答	充分満足している +ある程度満足している
全 体[116]	52.6	44.8	2.6	—	—	97.4
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	100.0
二年生[43]	58.1	39.5	2.3	—	—	97.7
三年生[42]	45.2	52.4	2.4	—	—	97.6
四年生[30]	56.7	40.0	3.3	—	—	96.7

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。



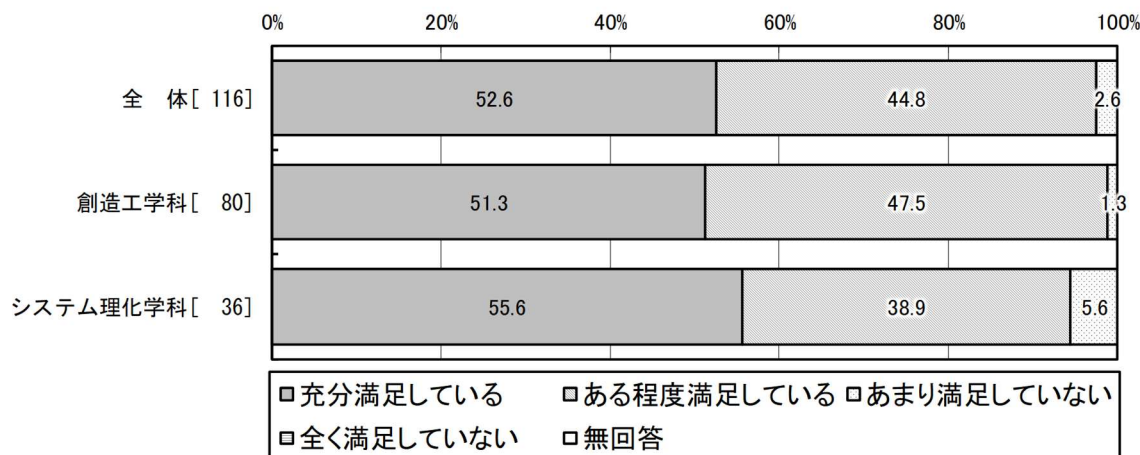
< 学 科 別 >

2. 以下の項目ごとに本学に関する印象等についてお答えください。

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	無回答	充分満足している +ある程度満足している
全 体[116]	52.6	44.8	2.6	—	—	97.4
創造工学科[80]	51.3	47.5	1.3	—	—	98.8
システム理化学科[36]	55.6	38.9	5.6	—	—	94.4

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

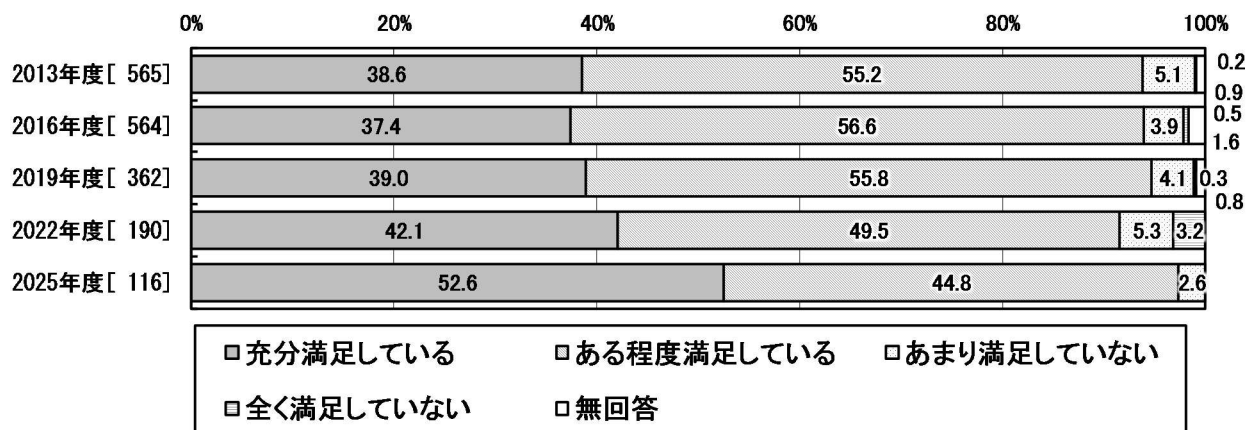


< これまでの調 査 と の 比 較 >

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	無回答	充分満足している +ある程度満足している
2013年度[565]	38.6	55.2	5.1	0.2	0.9	93.8
2016年度[564]	37.4	56.6	3.9	0.5	1.6	94.0
2019年度[362]	39.0	55.8	4.1	0.3	0.8	94.8
2022年度[190]	42.1	49.5	5.3	3.2	—	91.6
2025年度[116]	52.6	44.8	2.6	—	—	97.4

(6) 父母等として、ご子女が本学に入学されたことについて満足しておられますか。



3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路について

（１）ご子女の大学院への進学についての考え

今回調査から追加された設問である。

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士後期課程に進学してほしい」と回答した父母等の割合は合わせて 50.0%である。

学年別にみた場合、大学院への進学要望の割合が最も高いのは四年生 56.7%、次いで三年生 54.8%、二年生 39.5%となっている。

学科別の比較も次ページに掲載しているが、創造工学科 52.5%、システム理化学科 44.4%で差異がみられる。

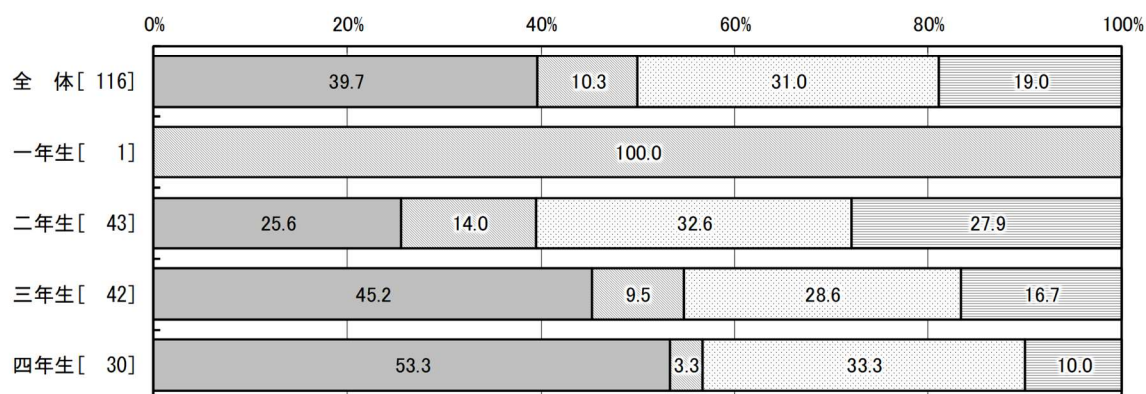
< 学年別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

（１）ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。

	博士前期課程（修士課程）に進学してほしい	博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい	大学（学部）卒業後、就職してほしい	わからない	無回答	博士前期課程（修士課程）に進学してほしい＋博士後期課程に進学してほしい
全 体[116]	39.7	10.3	31.0	19.0	—	50.0
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	100.0
二年生[43]	25.6	14.0	32.6	27.9	—	39.5
三年生[42]	45.2	9.5	28.6	16.7	—	54.8
四年生[30]	53.3	3.3	33.3	10.0	—	56.7

（１）ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。



- ☐ 博士前期課程(修士課程)に進学してほしい
- ☐ 博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい
- ☐ 大学(学部)卒業後、就職してほしい
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

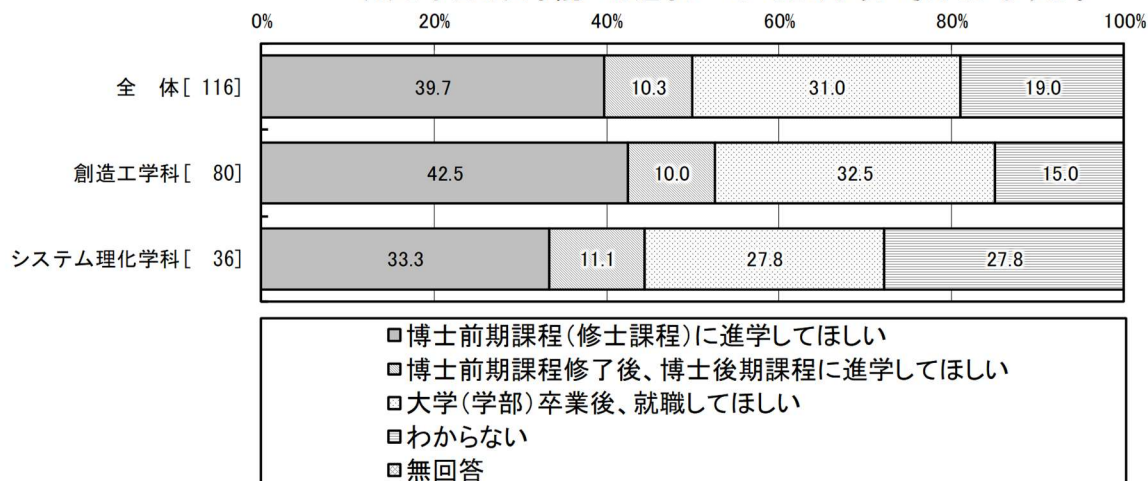
< 学 科 別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

（1）ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。

	博士前期課程（修士課程）に進学してほしい	博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい	大学（学部）卒業後、就職してほしい	わからない	無回答	博士前期課程（修士課程）に進学してほしい ＋博士後期課程に進学してほしい
全 体 [116]	39.7	10.3	31.0	19.0	—	50.0
創造工学科 [80]	42.5	10.0	32.5	15.0	—	52.5
システム理化学科 [36]	33.3	11.1	27.8	27.8	—	44.4

（1）ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。



(2)-1.「博士前期課程・博士後期課程に進学してほしい」と回答した理由

「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士後期課程に進学してほしい」と回答した父母等にその理由を複数選択で聞いた設問である。

全体として最も割合が高いのは「大学院でより専門的な研究をしてほしいから」60.3%、次いで「研究活動を通して自分を高めてほしいから」50.0%、「就職先や給与の面で有利だと思うから」48.3%、同率で「ご子女が大学院進学を希望しているから」48.3%、「理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから」37.9%、「地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから」10.3%となっている。

学年別にみた場合、四年生においては「ご子女が大学院進学を希望しているから」が64.7%と、他学年と比較して高い。

参考までに、学科別の比較も次ページに掲載している。

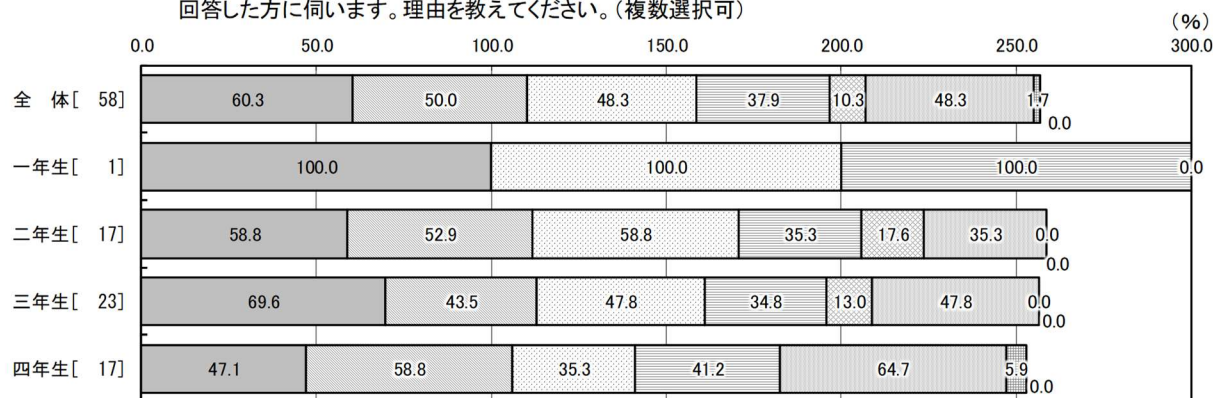
< 学年別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

(2) 「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい」と回答した方に伺います。理由を教えてください。（複数選択可）

	大学院でより専門的な研究をしてほしいから	研究活動を通して自分を高めてほしいから	就職先や給与の面で有利だと思うから	理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから	地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから	ご子女が大学院進学を希望しているから	その他	無回答
全 体[58]	60.3	50.0	48.3	37.9	10.3	48.3	1.7	—
一年生[1]	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—
二年生[17]	58.8	52.9	58.8	35.3	17.6	35.3	—	—
三年生[23]	69.6	43.5	47.8	34.8	13.0	47.8	—	—
四年生[17]	47.1	58.8	35.3	41.2	—	64.7	5.9	—

(2)「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい」と回答した方に伺います。理由を教えてください。（複数選択可）



- ☐ 大学院でより専門的な研究をしてほしいから
- ☐ 研究活動を通して自分を高めてほしいから
- ☐ 就職先や給与の面で有利だと思うから
- ☐ 理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから
- ☐ 地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから
- ☐ ご子女が大学院進学を希望しているから
- ☐ その他
- ☐ 無回答

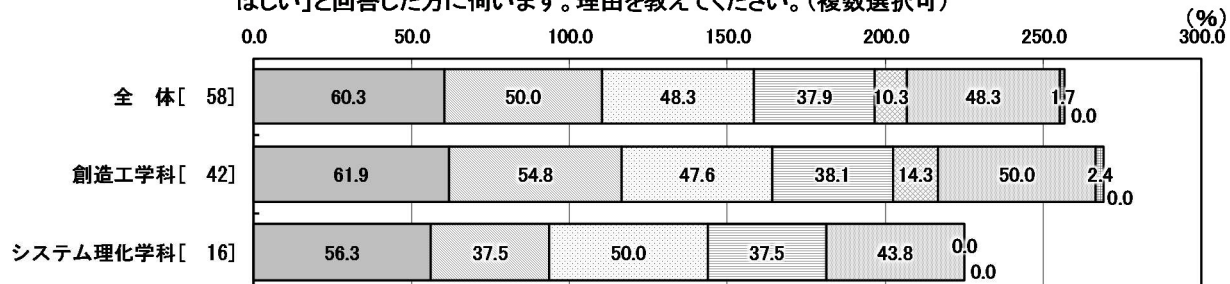
< 学 科 別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

（２）「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい」と回答した方に伺います。理由を教えてください。（複数選択可）

	大学院でより専門的な研究をしてほしいから	研究活動を通して自分を高めてほしいから	就職先や給与の面で有利だと思うから	理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから	地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから	ご子女が大学院進学を希望しているから	その他	無回答
全 体[58]	60.3	50.0	48.3	37.9	10.3	48.3	1.7	—
創造工学科[42]	61.9	54.8	47.6	38.1	14.3	50.0	2.4	—
システム理化学科[16]	56.3	37.5	50.0	37.5	—	43.8	—	—

（２）「博士前期課程（修士課程）に進学してほしい」「博士前期課程修了後、博士後期課程に進学してほしい」と回答した方に伺います。理由を教えてください。（複数選択可）



- ☐ 大学院でより専門的な研究をしてほしいから
- ☐ 研究活動を通して自分を高めてほしいから
- ☐ 就職先や給与の面で有利だと思うから
- ☐ 理工系の学部であれば大学院に進学することが一般的と思うから
- ☐ 地区別懇談会などのイベントで大学院進学に関して肯定的に思ったから
- ☐ ご子女が大学院進学を希望しているから
- ☐ その他
- ☐ 無回答

(2)-2.「大学(学部)卒業後、就職してほしい」と回答した理由

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「大学(学部)卒業後、就職してほしい」と回答した父母等の割合は全体として31.0%(36人)であるが、その理由を複数選択で聞いた設問である。

全体として最も割合が高いのは「早期に就職して社会で活躍してほしいから」50.0%、次いで「経済的な理由から」41.7%、「大学院での研究には興味がないから」19.4%、「大学院へ進学するメリットがわからないから」13.9%となっている。

学年別にみた場合、四年生においては「早期に就職して社会で活躍してほしいから」が70.0%と、他学年と比較して高い。

参考までに、学科別の比較も次ページに掲載している。

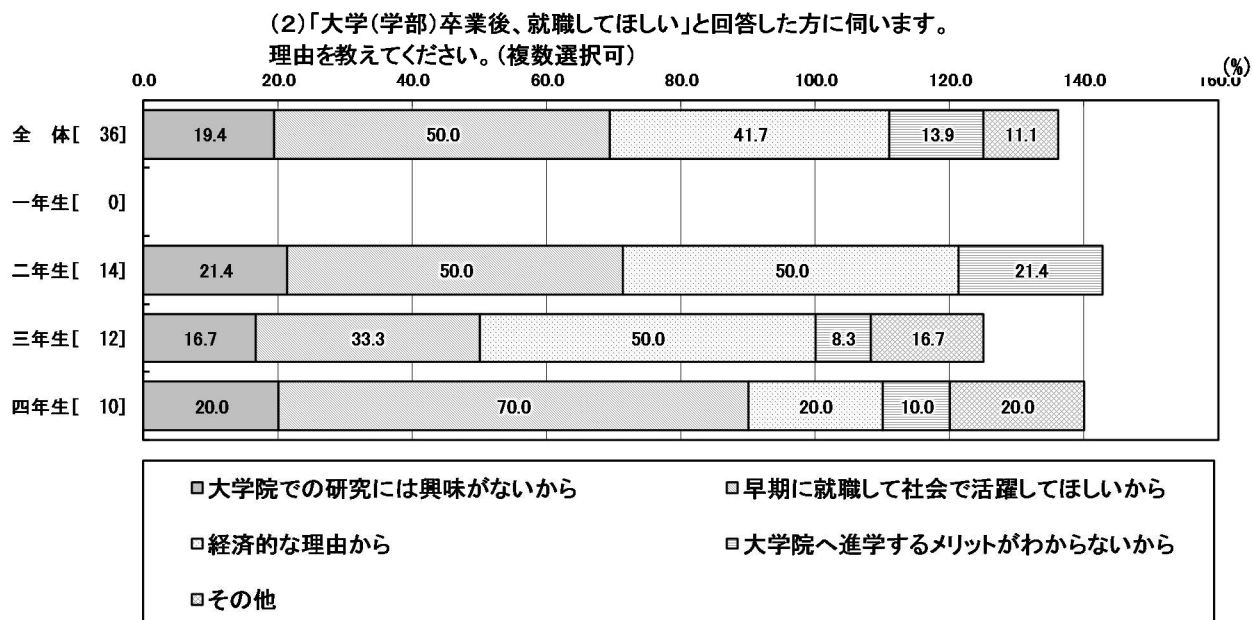
< 学年別 >

3. ご子女の大学(学部)卒業後の進路についてお伺いします。

(2)「大学(学部)卒業後、就職してほしい」と回答した方に伺います。

理由を教えてください。(複数選択可)

	大学院での研究には興味がないから	早期に就職して社会で活躍してほしいから	経済的な理由から	大学院へ進学するメリットがわからないから	その他	無回答
全 体[36]	19.4	50.0	41.7	13.9	11.1	—
一年生[0]	—	—	—	—	—	—
二年生[14]	21.4	50.0	50.0	21.4	—	—
三年生[12]	16.7	33.3	50.0	8.3	16.7	—
四年生[10]	20.0	70.0	20.0	10.0	20.0	—



< 学 科 別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

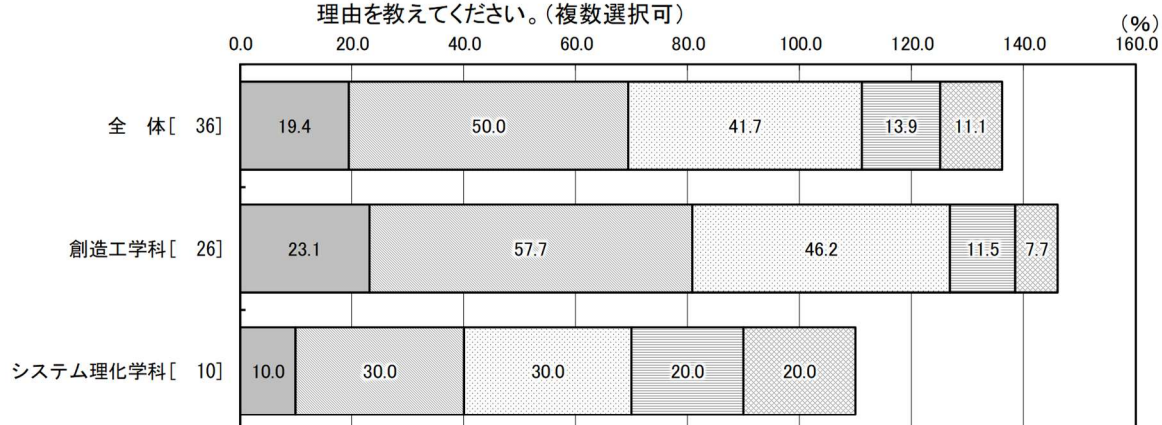
（2）「大学（学部）卒業後、就職してほしい」と回答した方に伺います。

理由を教えてください。（複数選択可）

	大学院での研究には興味がないから	早期に就職して社会で活躍してほしいから	経済的な理由から	大学院へ進学するメリットがわからないから	その他	無回答
全 体[36]	19.4	50.0	41.7	13.9	11.1	—
創造工学科[26]	23.1	57.7	46.2	11.5	7.7	—
システム理化学科[10]	10.0	30.0	30.0	20.0	20.0	—

（2）「大学（学部）卒業後、就職してほしい」と回答した方に伺います。

理由を教えてください。（複数選択可）



- ☐ 大学院での研究には興味がないから
- ☐ 早期に就職して社会で活躍してほしいから
- ☐ 経済的な理由から
- ☐ 大学院へ進学するメリットがわからないから
- ☐ その他
- ☐ 無回答

(2)-3. 大学院への進学を検討するのに必要な情報

「ご子女の大学院への進学についてどのように考えていますか。」との設問に対して、「わからない」と回答した父母等の割合は全体として19.0%(22人)であるが、その回答者に「今後どのような情報があると、大学院へ進学させても良いかかもしれないと思いますか。」と複数選択で聞いた設問である。

全体として最も割合が高いのは「大学院進学にかかる費用や学費の支援(奨学金)に関すること」54.5%、次いで「大学院を修了(卒業)した学生の社会での活躍に関すること」45.5%、「大学院修了(卒業)後の就職先や就職後の給与に関すること」40.9%、「大学院進学後の研究内容」27.3%となっている。

参考までに学科別の比較も次ページに掲載している。

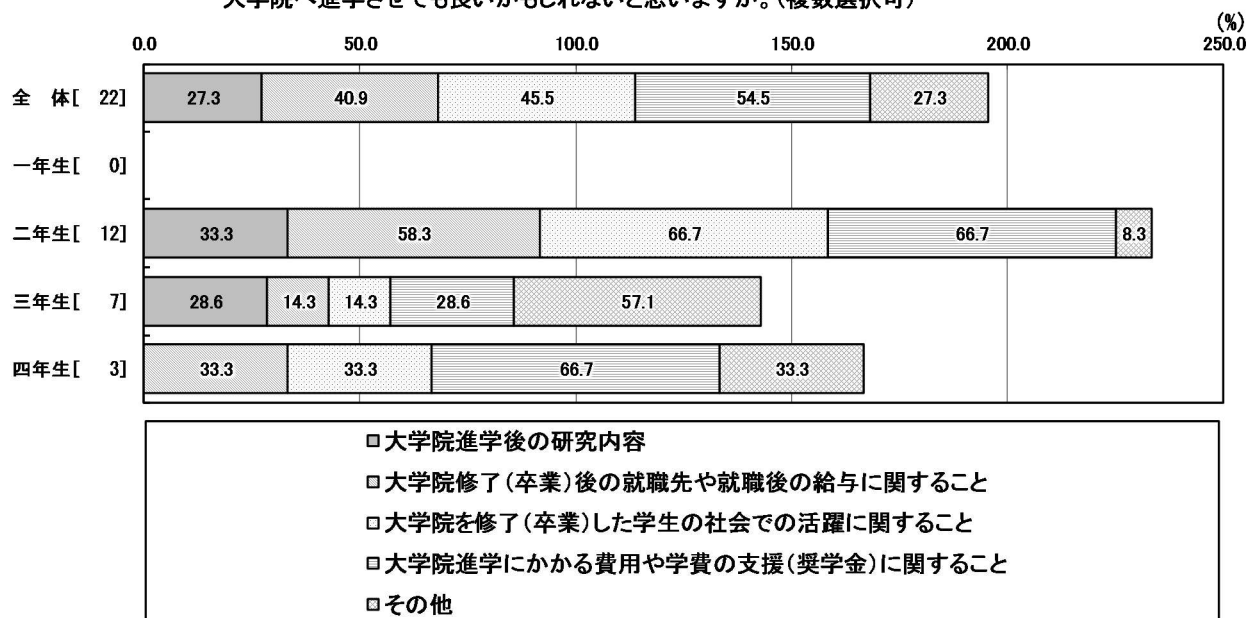
< 学年別 >

3. ご子女の大学(学部)卒業後の進路についてお伺いします。

(2)「わからない」と回答した方にお尋ねします。今後どのような情報提供があると、大学院へ進学させても良いかかもしれないと思いますか。(複数選択可)

	大学院進学後の研究内容	大学院修了(卒業)後の就職先や就職後の給与に関すること	大学院を修了(卒業)した学生の社会での活躍に関すること	大学院進学にかかる費用や学費の支援(奨学金)に関すること	その他	無回答
全 体[22]	27.3	40.9	45.5	54.5	27.3	—
一年生[0]	—	—	—	—	—	—
二年生[12]	33.3	58.3	66.7	66.7	8.3	—
三年生[7]	28.6	14.3	14.3	28.6	57.1	—
四年生[3]	—	33.3	33.3	66.7	33.3	—

(2)「わからない」と回答した方にお尋ねします。今後どのような情報提供があると、大学院へ進学させても良いかかもしれないと思いますか。(複数選択可)



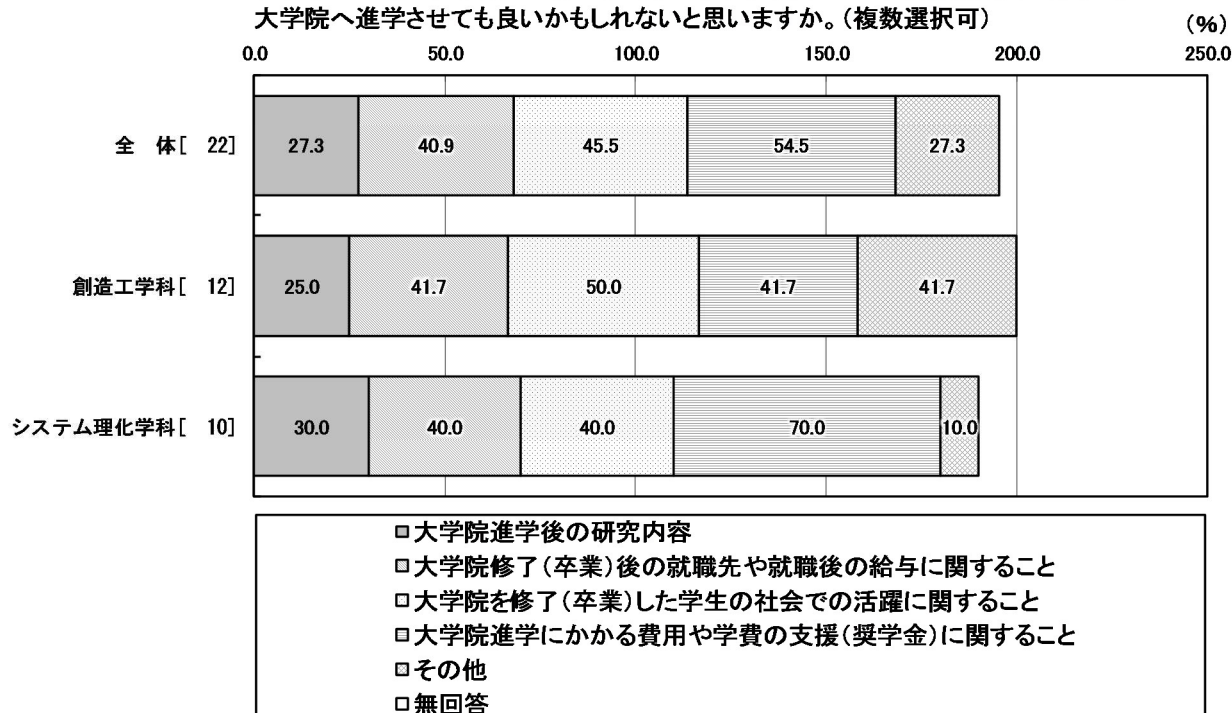
< 学 科 別 >

3. ご子女の大学（学部）卒業後の進路についてお伺いします。

（2）「わからない」と回答した方にお尋ねします。今後どのような情報提供があると、大学院へ進学させても良いかと思いますが。（複数選択可）

	大学院進学後の研究内容	大学院修了（卒業）後の就職先や就職後の給与に関する事	大学院を修了（卒業）した学生の社会での活躍に関する事	大学院進学にかかる費用や学費の支援（奨学金）に関する事	その他	無回答
全 体[22]	27.3	40.9	45.5	54.5	27.3	—
創造工学科[12]	25.0	41.7	50.0	41.7	41.7	—
システム理化学科[10]	30.0	40.0	40.0	70.0	10.0	—

（2）「わからない」と回答した方にお尋ねします。今後どのような情報提供があると、大学院へ進学させても良いかと思いますが。（複数選択可）



4. 父母等と本学の接点について

(1) 本学の情報に触れる主な媒体(3つまで選択可)

今回調査から追加された設問である。(※前回2022年度までの調査では「ホームページの閲覧状況」についての設問であった。)

「本学の情報に触れる主な媒体は何ですか？」(3つまで選択可)という設問に関しての回答は以下の図表のとおりである。

全体として「大学のホームページ」87.9%が圧倒的に高い。次いで高いのは「新聞」18.1%、「YouTube」12.9%、同率で「Instagram」12.9%、「テレビ」11.2%、「出版物(雑誌など)」6.0%と続いている。

< 学年別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(1) 本学の情報に触れる主な媒体は何ですか？(3つまで選択可)

	回答者数	合 計	1. 大学 ホーム ページ	2. 新 聞	3. テ レ ビ	4. ラ ジ オ	5. 出 版 物 (雑誌 など)	6. Y o u t u b e	7. f a c e b o o k	8. T X (旧 t t e r)	9. I n s t a g r a m	10. T i k T o k	11. な し	12. そ の 他	13. 無 回 答
全 体	116 (100.0)	193 (166.4)	102 (87.9)	21 (18.1)	13 (11.2)	0 (-)	7 (6.0)	15 (12.9)	0 (-)	9 (7.8)	15 (12.9)	0 (-)	2 (1.7)	9 (7.8)	0 (-)
学 年	1. 一年生	3 (300.0)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	2. 二年生	43 (100.0)	75 (174.4)	38 (88.4)	8 (18.6)	5 (11.6)	0 (-)	3 (7.0)	5 (11.6)	0 (-)	5 (11.6)	9 (20.9)	0 (-)	0 (-)	2 (4.7)
	3. 三年生	42 (100.0)	64 (152.4)	38 (90.5)	7 (16.7)	5 (11.9)	0 (-)	1 (2.4)	7 (16.7)	0 (-)	2 (4.8)	2 (4.8)	0 (-)	2 (4.8)	0 (-)
	4. 四年生	30 (100.0)	51 (170.0)	25 (83.3)	6 (20.0)	3 (10.0)	0 (-)	3 (10.0)	2 (6.7)	0 (-)	2 (6.7)	3 (10.0)	0 (-)	0 (-)	7 (23.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

< 学科別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(1) 本学の情報に触れる主な媒体は何ですか？(3つまで選択可)

	回答者数	合 計	1. 大学 ホーム ページ	2. 新 聞	3. テ レ ビ	4. ラ ジ オ	5. 出 版 物 (雑誌 など)	6. Y o u t u b e	7. f a c e b o o k	8. T X (旧 t t e r)	9. I n s t a g r a m	10. T i k T o k	11. な し	12. そ の 他	13. 無 回 答
全 体	116 (100.0)	193 (166.4)	102 (87.9)	21 (18.1)	13 (11.2)	0 (-)	7 (6.0)	15 (12.9)	0 (-)	9 (7.8)	15 (12.9)	0 (-)	2 (1.7)	9 (7.8)	0 (-)
学 科	1. 創造工学科	80 (100.0)	133 (166.3)	72 (90.0)	14 (17.5)	9 (11.3)	0 (-)	4 (5.0)	11 (13.8)	0 (-)	5 (6.3)	11 (13.8)	0 (-)	1 (1.3)	6 (7.5)
	2. システム理 化学科	36 (100.0)	60 (166.7)	30 (83.3)	7 (19.4)	4 (11.1)	0 (-)	3 (8.3)	4 (11.1)	0 (-)	4 (11.1)	4 (11.1)	0 (-)	1 (2.8)	3 (8.3)

注:()内はサンプル数を100とした割合

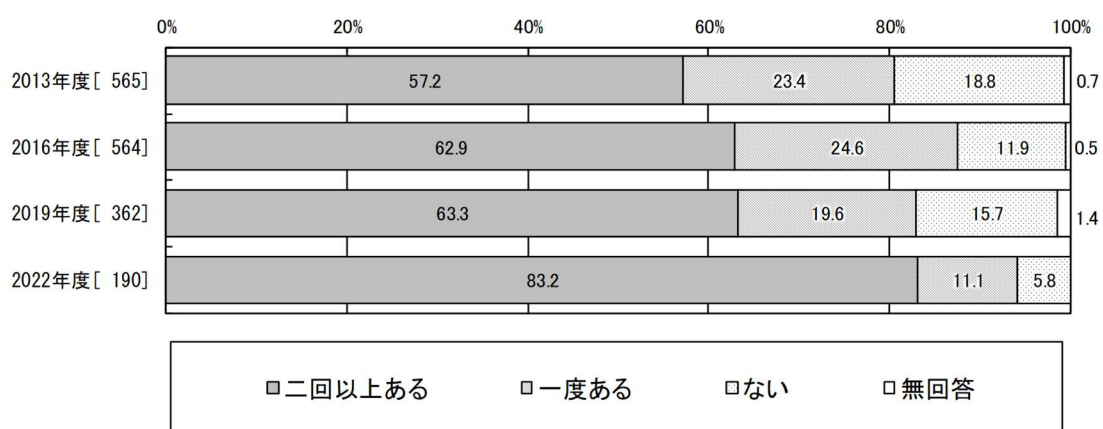
【参考】（前回 2022 年度までの関連設問）

3. 保護者の方々と本学の接点についてお伺いします。

（1）本学のホームページをご覧になったことはありますか。

	二回以上 ある	一度ある	ない	無回答	一回以上 ある
2013年度[565]	57.2	23.4	18.8	0.7	80.5
2016年度[564]	62.9	24.6	11.9	0.5	87.6
2019年度[362]	63.3	19.6	15.7	1.4	82.9
2022年度[190]	83.2	11.1	5.8	—	94.2

（1）本学のホームページをご覧になったことはありますか。



(2) 選択した媒体から得られる情報についての満足度

「(1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。」との設問に対して、「充分満足している」「ある程度満足している」と回答した父母等の肯定的意見の割合は合わせて80.7%、「あまり満足していない」との回答割合は12.3%、「全く満足していない」は1.8%、「わからない」が5.3%となっている。

学年別にみた場合、「充分満足している」「ある程度満足している」を合わせた肯定的意見の割合は、四年生86.7%、三年生82.5%、二年生が74.4%で若干の差異がみられる。

学科別にみた場合、肯定的意見の割合は創造工学科78.5%、システム理化学科85.7%と若干の差異がみられる。

本設問に類似した設問を2016年度から2022年度まで実施しているので、参考までに掲載している。

肯定的意見の割合は2016年度61.2%、2019年度61.3%、2022年度71.6%、今回調査では80.7%となっている。

ただし、設問の文言が今回調査で変更されている点は留意いただきたい。

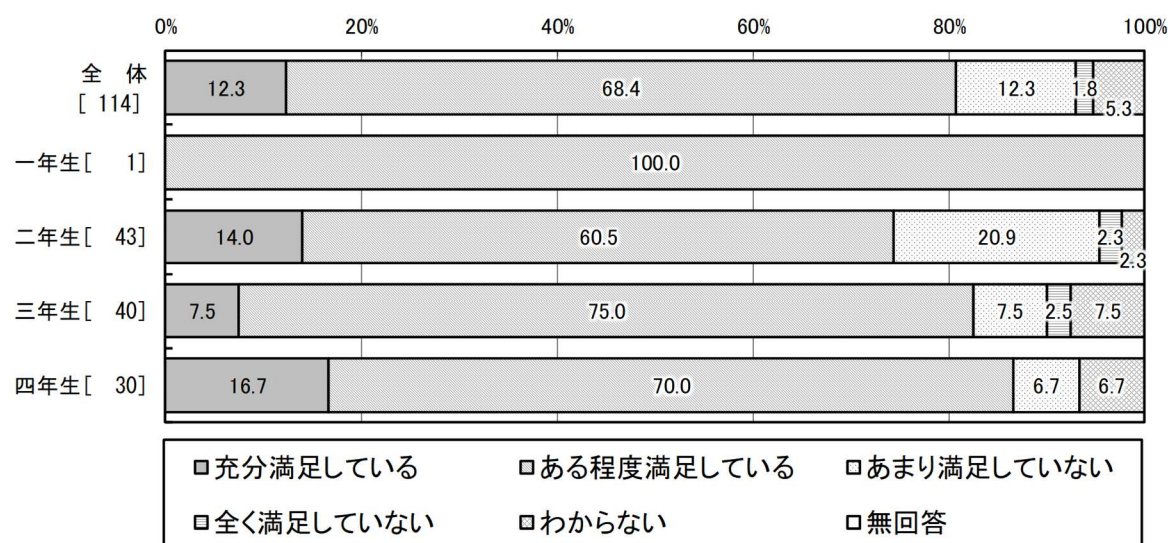
< 学年別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(2) (1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	わからな い	無回答	充分満足している +ある程度満足し ている
全 体[114]	12.3	68.4	12.3	1.8	5.3	—	80.7
一年生[1]	—	100.0	—	—	—	—	100.0
二年生[43]	14.0	60.5	20.9	2.3	2.3	—	74.4
三年生[40]	7.5	75.0	7.5	2.5	7.5	—	82.5
四年生[30]	16.7	70.0	6.7	—	6.7	—	86.7

(2)(1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。



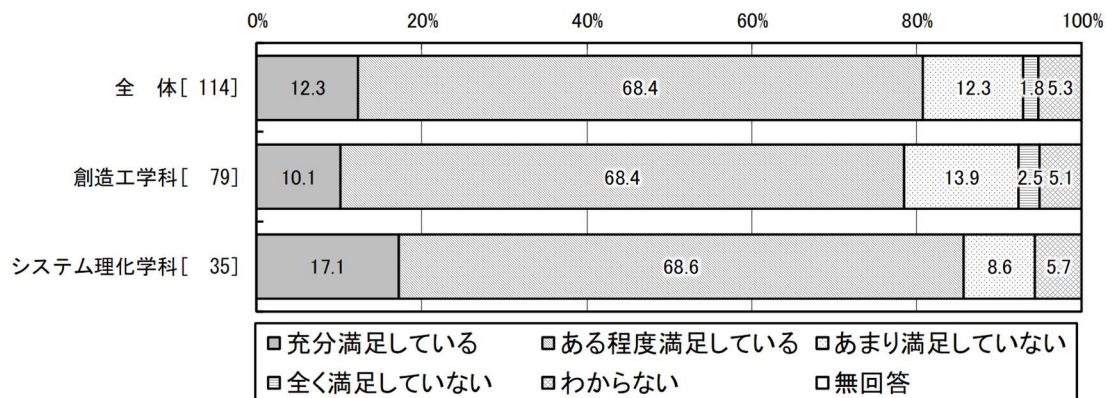
< 学 科 別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(2) (1) で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	わからな い	無回答	充分満足している +ある程度満足し ている
全 体[114]	12.3	68.4	12.3	1.8	5.3	—	80.7
創造工学科[79]	10.1	68.4	13.9	2.5	5.1	—	78.5
システム理化学科[35]	17.1	68.6	8.6	—	5.7	—	85.7

(2)(1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。



< これまでの調 査 と の 比 較 >

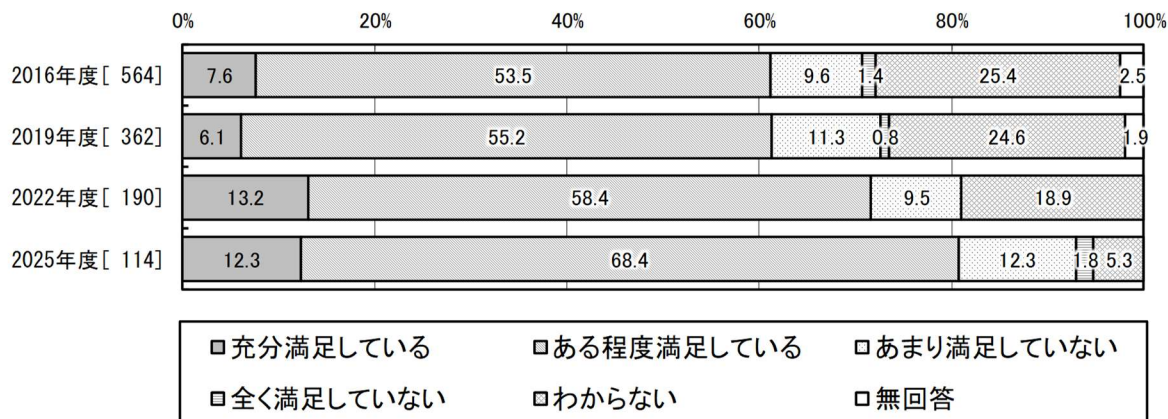
※2022 年度 以前 の 設 問 は 以 下 の 通 り

「(3) 本 学 か ら の 情 報 発 信 (ホ ー ム ペ ー ジ 、 t w i t t e r へ の 掲 載 事 項 、 各 種 ご 案 内) の 内 容 に つ い て 満 足 して お ら れ ま す か 。 」

(2) (1) で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。

	充分満足 している	ある程度 満足して いる	あまり満 足してい ない	全く満足 していな い	わからな い	無回答	充分満足している+あ る程度満足している
2016年度[564]	7.6	53.5	9.6	1.4	25.4	2.5	61.2
2019年度[362]	6.1	55.2	11.3	0.8	24.6	1.9	61.3
2022年度[190]	13.2	58.4	9.5	—	18.9	—	71.6
2025年度[114]	12.3	68.4	12.3	1.8	5.3	—	80.7

(2)(1)で選択した媒体から得られる情報について満足しておられますか。



(3) 本学から受けた情報の種類等

「本学からどのような情報の発信を希望されますか」との設問に対しては、「就職・進学状況」が45.7%で突出して高く、次いで「教育の環境」19.8%、「研究の内容」18.1%、「学生の成績」12.1%となっている。

学年別・学科別でみた場合でも、最も高い値は「就職・進学状況」となっている。

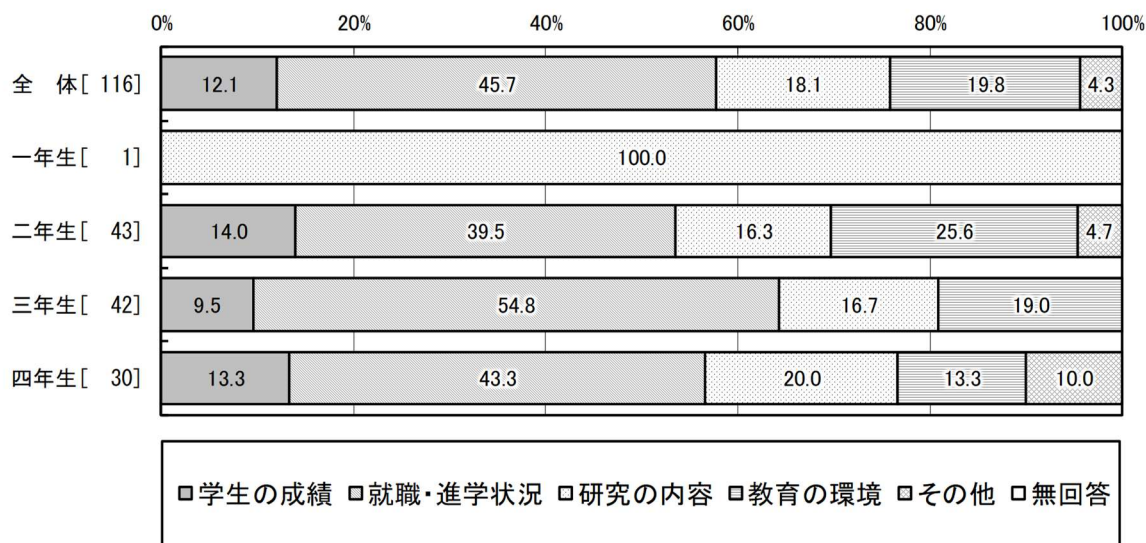
< 学年別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(3) 本学からどのような情報の発信を希望されますか。

	学生の成績	就職・進学状況	研究の内容	教育の環境	その他	無回答
全 体[116]	12.1	45.7	18.1	19.8	4.3	—
一年生[1]	—	—	100.0	—	—	—
二年生[43]	14.0	39.5	16.3	25.6	4.7	—
三年生[42]	9.5	54.8	16.7	19.0	—	—
四年生[30]	13.3	43.3	20.0	13.3	10.0	—

(3) 本学からどのような情報の発信を希望されますか。



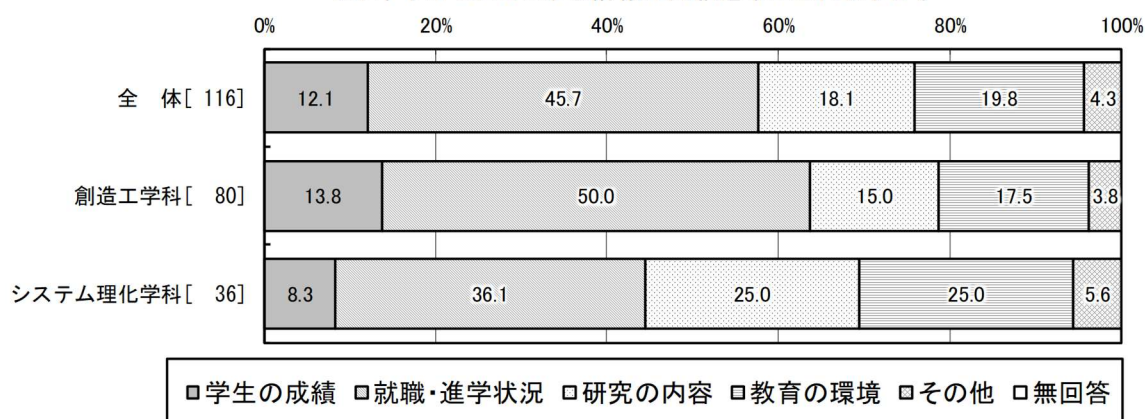
< 学 科 別 >

4. 父母等の皆様と本学の接点についてお伺いします。

(3) 本学からどのような情報の発信を希望されますか。

	学生の成績	就職・進学状況	研究の内容	教育の環境	その他	無回答
全 体 [116]	12.1	45.7	18.1	19.8	4.3	—
創造工学科 [80]	13.8	50.0	15.0	17.5	3.8	—
システム理化学科 [36]	8.3	36.1	25.0	25.0	5.6	—

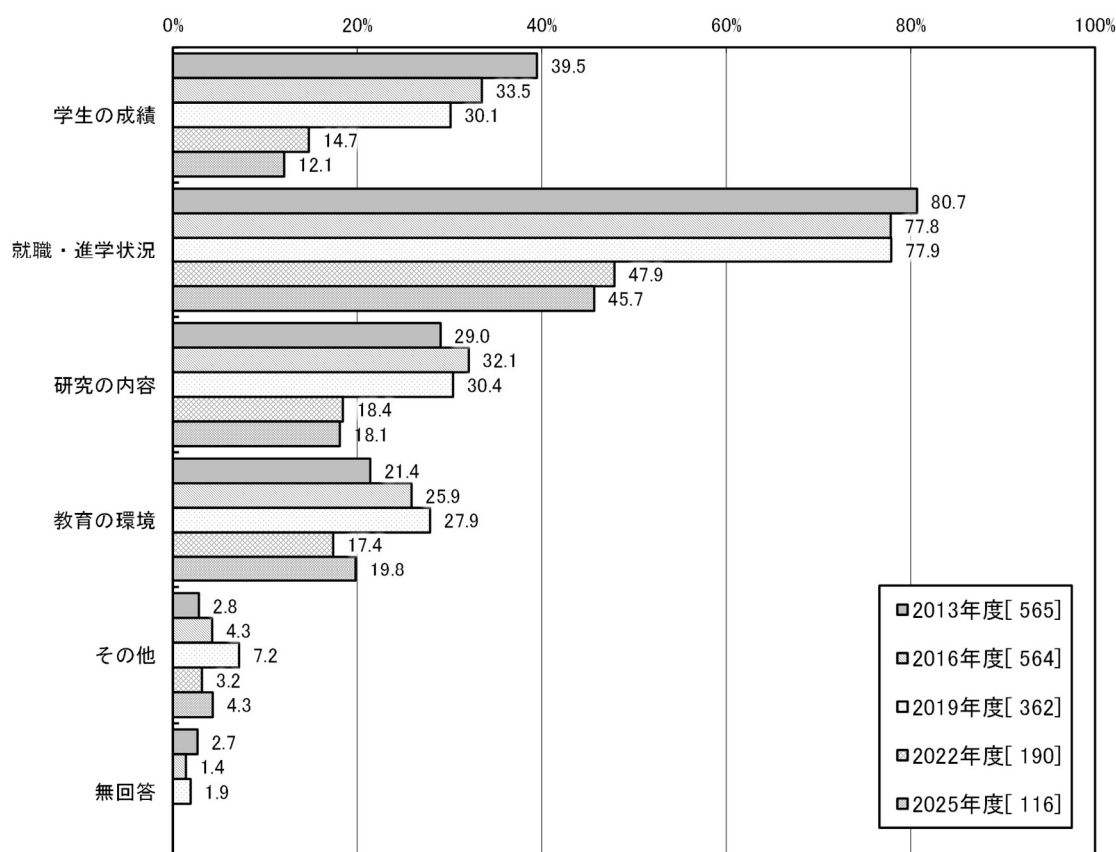
(3) 本学からどのような情報の発信を希望されますか。



< これまでの調査との比較 >

※2019年度までの調査は複数回答を許容した値となっている。

(3) 本学からどのような情報の発信を希望されますか。



5. 父母等が考える本学として今後強化すべき事項

「今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択ください」（複数選択可）との設問に対して、全体で最も選択割合が高いのは「教育（専門的知識・技術）」68.1%、次いで「就職支援」57.8%、「教育（語学力、コミュニケーション力）」が51.7%となっている。

学年ごとに見た場合、四年生では「研究活動」が56.7%と最も高くなっている。

割合は学年により異なるので、下の表に加工を加えている。

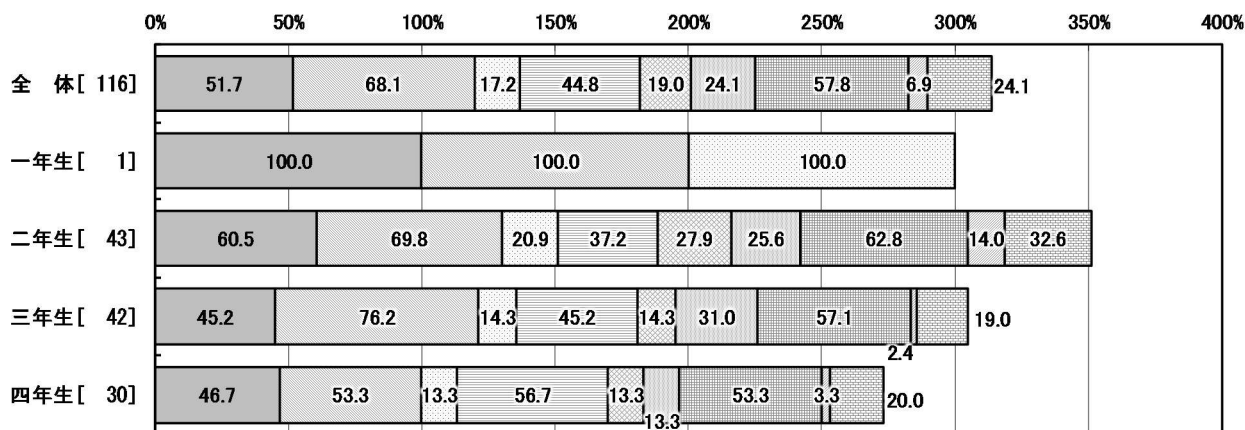
< 学年別 >

5. 今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択してください。（複数選択可）

	教育（語学力、コミュニケーション力）	教育（専門的知識・技術）	教育（一般的な教養知識）	研究活動	地域（社会）貢献	国際交流	就職支援	課外活動支援	経済支援（奨学金等）	その他	無回答
全 体 [116]	51.7	68.1	17.2	44.8	19.0	24.1	57.8	6.9	24.1	—	—
一年生 [1]	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
二年生 [43]	60.5	69.8	20.9	37.2	27.9	25.6	62.8	14.0	32.6	—	—
三年生 [42]	45.2	76.2	14.3	45.2	14.3	31.0	57.1	2.4	19.0	—	—
四年生 [30]	46.7	53.3	13.3	56.7	13.3	13.3	53.3	3.3	20.0	—	—

% 全体・学年で1位 % 全体・学年で2位 % 全体・学年で3位 ※一年生は除く

5. 今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択してください。（複数選択可）



- ☐ 教育（語学力、コミュニケーション力）
☐ 教育（一般的な教養知識）
☐ 地域（社会）貢献
☐ 就職支援
☐ 経済支援（奨学金等）
☐ 無回答

☐ 教育（専門的知識・技術）
☐ 研究活動
☐ 国際交流
☐ 課外活動支援
☐ その他

< 学 科 別 >

5. 今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択してください。（複数選択可）

8. 今後、本学が特に力を注ぐべきと思われる事項を選択してください。（複数選択可）														
		回答者数	合 計	1. 力） 教育（語学力、 コミュニケーション	2. 識 教育（専門的知 識・技術）	3. 養 教育（一般的な教 養知識）	4. 研究活動	5. 地域（社会） 貢献	6. 国際交流	7. 就職支援	8. 課外活動支援	9. 等） 経済支援（奨学金	10. その他	11. 無回答
全 体		116 (100.0)	364 (313.8)	60 (51.7)	79 (68.1)	20 (17.2)	52 (44.8)	22 (19.0)	28 (24.1)	67 (57.8)	8 (6.9)	28 (24.1)	0 (-)	0 (-)
学 科	1. 創造工学科	80 (100.0)	242 (302.5)	40 (50.0)	55 (68.8)	14 (17.5)	32 (40.0)	13 (16.3)	19 (23.8)	43 (53.8)	5 (6.3)	21 (26.3)	0 (-)	0 (-)
	2. システム理 化学科	36 (100.0)	122 (338.9)	20 (55.6)	24 (66.7)	6 (16.7)	20 (55.6)	9 (25.0)	9 (25.0)	24 (66.7)	3 (8.3)	7 (19.4)	0 (-)	0 (-)

注:()内はサンプル数を100とした割合

< これまでの調 査 と の 比 較 >

5. 今後、本学が特に力を入れるべきと考える事項を選択してください。（複数選択可）

	コミュニケーション力	教育（専門的知識・技術）	教育（一般的な教養知識）	研究活動	地域（社会）貢献	国際交流	就職支援	課外活動支援	経済支援（奨学金等）	その他	（2019年）教育（教理・情報分野）	無回答
2013年度[565]	61.1	62.3	27.4	26.0	20.9	23.4	65.7	5.8	15.6	1.2	—	3.4
2016年度[564]	56.6	59.9	21.1	31.7	17.7	19.5	63.8	6.4	21.6	1.2	—	3.4
2019年度[362]	58.3	59.9	22.4	27.6	21.0	27.3	63.3	8.0	20.2	1.1	16.0	1.1
2022年度[190]	54.2	76.8	16.3	52.1	21.6	21.6	57.4	12.1	14.2	2.1	—	—
2025年度[116]	51.7	68.1	17.2	44.8	19.0	24.1	57.8	6.9	24.1	—	—	—

室蘭工業大学 令和 7 年度父母等アンケート

集計結果報告書

令和 7 年 9 月

編著：一般社団法人日本能率協会
